

令和4年度 銚田市社会福祉協議会事業計画書

目 次

基本方針	1
重点事業	1

1 社会福祉事業

(1) 法人運営事業	2
(2) ボランティアセンター事業	3
(3) 高齢者福祉事業	3～4
(4) 障がい者（児）福祉事業	4
(5) 児童福祉事業	5
(6) 低所得者福祉事業	5
(7) 地域福祉事業	6
(8) 共同募金事業	6～7
(9) 介護保険事業	7
(10) 障害福祉サービス事業	7～8

2 公益事業

(1) 受託事業/茨城県社会福祉協議会	8
(2) 受託事業/鉾田市	8～9
(3) 指定管理事業/鉾田市	9

3 収益事業

(1) 老人福祉センター売店事業	10
------------------	----

令和4年度 銚田市社会福祉協議会事業計画書(案)

<基本方針>

今日、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という極めて大きな災禍の影響により、私たちの生活様式は大きく変化してまいりました。特に緊急事態宣言を受け、収入の減少や不安定な雇用情勢などにより生活に困難を抱える住民が急増したほか、これまで地域で展開されていたボランティア活動や支え合い・助け合いの活動が中止を余儀なくされるなどにより、多くの住民が生活に不安を強いられる状況となりました。

本会の事業執行においても、大きな制約と見直しを余儀なくされる中、新たな試みを取り入れながら各事業に取り組んでまいりました。

地域社会においては、人と人とのつながりの希薄化や生活の困窮、地域住民の孤立が進んでいることへの懸念がされています。人びとが相互に人格と個性を尊重し合いながら社会参加し、自立的な暮らしを最期まで続けることのできる地域づくりをすすめるため「地域共生社会」の実現やコロナ禍の中で変化した生活課題のもと、地域活動のあり方に新たな視点と工夫を持って対応していくことが求められています。

本会は、新たな地域生活課題や生活困窮の問題への対応、時代の変化に合わせた施策・事業の見直し等も図りつつ、市民への福祉活動の理解促進や新たな福祉人材の確保、福祉団体の連携促進に取り組み、市民だれもが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進します。

<重点事業>

○関係機関・団体との連携・協働による効果的な事業推進。

NPO 法人やボランティア団体等と連携し、子ども食堂や学習支援など、子どもの居場所に関する地域ネットワークの強化に取り組み、地域で子どもを見守る仕組みづくりの推進に努めます。

○新たな生活支援の方策の検討・実施、顕在化している地域生活課題の発掘。

多様化する地域生活課題に対応していくため、行政や福祉関係機関だけではなく、高齢者や障害者なども含めた多くの市民に社会の中で役割を担っていただく「地域共生社会」へ向けた取り組みとして、生活体制整備事業の推進を図ります。

○職員研修による人材育成と事業の目標管理を通じた業務の遂行。

積極的な研修参加による職員育成と能力開発を行い自律的な業務の執行に努めます。

○自主財源の確保や事業の見直しを行い、継続的・安定的な財政基盤の確立。

各種事業の見直しを行うとともに、介護保険事業や障害者支援事業に対し、その成果を見据えながら運営を行い、安定した経営基盤の確立を図ります。

令和4年度 各種事業(案)

自:令和4年4月 1日

至:令和5年3月31日

1 社会福祉事業

(1)法人運営事業

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	組織の運営 役員会	本会の円滑な運営のため、計画の立案及び進捗の管理。並びに、組織・事業・財務の評価により、効果的・効率的な運営の推進を行います。	理事会(年3回) 6月、9月、3月 評議員会(年3回) 6月、9月、3月 監事会(年3回) 5月、11月、2月 評議員選任・解任委員会(必要に応じて)
	予算額 法人計上		
2	各種委員会	所管事項について、調査研究及び実践活動を行い、必要に応じて会長に意見を具申します。	企画財政委員会(年3回) 調査広報委員会(年4回) ボランティア活動センター運営委員会(年2回) 老人福祉センターともえ荘運営委員会(年2回)
	予算額 法人計上		
3	会員募集事業	鉾田市の福祉推進にあたり財源確保のため、市民及び事業所に当会活動への理解を得、会員加入の促進を図ります。	説明会:地域福祉推進会議(6月)を開催し、 地区別に説明会を開催します。 推進期間:7月~8月 会費種別:一般、特別、法人・団体会員 目標額:11,500,000円
	予算額 619千円		
4	広報紙の発行 (社協だより)	社協活動や福祉情報を発信するための広報・啓発を行います。	発行回数:年4回 発行部数:12,500部 配付先:各世帯、法人会員、公共施設など
	予算額 926千円		
5	ホームページの運営	素早い情報の発信を行うとともに事業等の紹介、財務諸表の開示を行います。	更新回数:適宜更新 ホームページリニューアルの検討
	予算額 331千円		
6	第8回社会福祉大会	社会福祉の発展に寄与、功績のあった方々を顕彰するとともに、福祉コミュニティの形成を推進する契機として開催する。	令和4年11月中旬 内容:式典 社会福祉功労者表彰 記念講演
	予算額 1,457千円		
7	善意銀行事業	市民等からの善意による寄付金及び物品の受入及び払出しを行います。	預託内容:金品預託、物品預託 預託区分:福祉基金、福祉一般、児童福祉、老人福祉、障害福祉等
	予算額 3,013千円		

(2) ボランティアセンター事業

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	ボランティア活動 センター事業 予算額 2,975千円	ボランティア情報の収集と発信。コーディネート業務や福祉教育、研修等の実施を図ります。	ボランティア活動の普及・推進 ボランティア登録と活動の斡旋 ボランティア保険加入 ボランティア活動のコーディネート
2	ボランティア講習会 予算額 126千円	趣味や技術の講座をとおり、新規ボランティアの発掘を図ります。	対象: 市民対象(登録ボランティア含む) 内容: 防災講座、傾聴講座、協力会員養成講座 回数: 3回
3	ウェルフェア サマースクール 予算額 134千円	早い時期からボランティアや福祉に親しみを持ってよう学ぶ機会を提供します。	対象: 小学生高学年・中学生・高校生 内容: 防災、ボランティア講座など 回数: 5回
4	ボランティア活動費 助成事業 予算額 875千円	ボランティアに係る保険の助成を行い活動の側面的な支援を行います。また、団体の自主的な運営を支援し、地域福祉の推進を図ります。	ボランティア保険助成 登録ボランティアに対し、ボランティア保険(350円)に対し、200円を助成。加入促進を図る。 ボランティアグループ活動助成 登録ボランティア団体に対し月活動状況に応じて、助成金を交付する。
5	福祉体験支援事業 予算額 570千円	福祉体験を通じて、高齢者や障がい者等の状態を学び、理解を深めます。	対象: 小・中学校(11校)対象 内容: インスタントシニア体験、車いす体験 アイマスク体験など
6	福祉活動校支援事業 予算額 福祉体験支援事業計上	ボランティア活動を実践している学校に対し、助成金を交付し、活動を支援します。	対象: 小・中学校(11校) 助成金: 小学校 10,000円+(100円×児童数) 中学校 15,000円+(100円×生徒数)

(3) 高齢者福祉事業

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	車いす等貸出事業 予算額 法人計上	生活の利便性向上のため、介護機器の貸出を行います。	貸出物品: 車いすの貸出、四点杖の貸出など 貸出料: 無料

2	福祉車両貸出事業	車椅子の方が医療機関等への外出を行うため、福祉車両(車椅子搭載車)の貸出を行います。	貸出車両:福祉車両 4 台 (普通車 2 台、軽自動車 2 台) 貸 出 料:無料。燃料代は、利用者負担。
	予算額 法人計上		
3	介護用品支給事業	在宅の高齢者の方で、常時介護用品を使用している低所得世帯に支給券を配付します。	対象者:要支援 1 以上の介護用品を使用している方がいる世帯で住民税 50,000 円以下の世帯 支給額:月額 1,500 円の介護支給券
	予算額 1,183千円		
4	ひとり暮らし高齢者サロン事業	在宅のひとり暮らし高齢者に対し、孤独感の解消や健康保持増進並びに安否の確認を行います。	対象者:70 歳以上のひとり暮らし高齢者 内 容:運動、講座、会食等 回 数:年 36 回(鉦田、旭、大洋 各 12 回) 参加費:300 円
	予算額 1,022千円		
5	高齢者健康増進事業	スポーツ大会を通して、高齢者の交流並びに健康増進を図ります。	開催時期:5 月～6 月 開催場所:市内運動施設 種 目:グラウンドゴルフ、輪投げ、ペタンク ゲートボール、クロッキー
	予算額 447千円		
6	みんなで支え合いサービス	高齢者と市民同士の互助サービスを作り高齢者福祉の増進を図ります。	対象者:高齢者と市民 内 容:軽度な家事援助
	予算額 生活支援体制整備事業計上		

(4)障がい者(児)福祉事業

番号	事業名等	目 的	具体的な事業内容
1	スマイルフェスティバル IN ほこた	障がい者(児)の社会参加をすすめるとともに、当事者同士やボランティアとの交流を図ります。	実施日:令和 4 年 11 月 3 日(祝) 対象者:市内在住の障がい者(児)並びに介護者 内 容:パラスポーツ体験他 参加費:無料 会 場:鉦田総合公園陸上競技場、体育館
	予算額 600千円		
2	介護用品支給事業(再掲)	在宅の障がい者の方で常時介護用品を使用している低所得世帯に支給券を配付します。	対 象 者:体幹・下肢機能障害 3 級以上、満 60 歳～65 歳の方で常時介護用品を使用している世帯で住民税 50,000 円以下の世帯 支 給 額:月額 1,500 円の介護支給券

(5)児童福祉事業

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	子育て支援 プロジェクト事業	コロナ禍において、ひとり親 家庭の心理的、経済的 な負担を軽減するために 食材を支援します。	対 象 者：市内ひとり親家庭(両親のいない家庭 を含む) 支援内容：食材等
	予算額 2,801千円		
2	新入学児童祝品事業 (はじまるよ!!いちね んせいおうえん事業)	ひとり親世帯等で小学校 新入学を迎える世帯の経 済的支援を図ります。	対象者：ひとり親世帯等で小学校に入学する児童 内 容：小学校指定の体操服等を贈る。 寄贈品：(体操服上下、-halfパンツ、半そで 1セット、紅白帽1つ) 祝品額：17,000円相当
	予算額 411千円		

(6)低所得者福祉事業

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	緊急食材等提供 支援事業(やさしさの かけはしプロジェクト)	生活困窮世帯に食材等 を給付、相談援助を行う ことで該当世帯を支援し ます。	対象者：生活困窮世帯 内 容：米、みそ、醤油、缶詰、ラーメンなどの 食材の給付並びに相談支援
	予算額 870千円		
2	緊急生活貸付 支援事業	生活困窮世帯に、緊急 的な貸付、相談援助を行 うことで該当世帯を支援 します。	対象者：生活困窮世帯 内 容：原則未納になっている電気料金や水道 料金相当分を貸付
	予算額 緊急食材等 提供支援事業計上		
3	緊急入院用具給付 事業	緊急に入院することにな り、入院用具を揃えられ ない方に必要物品を支 給します。	対象者：ひとり暮らし高齢者、低所得世帯 内 容：パジャマ、下着、洗面用具など
	予算額 緊急食材等 提供支援事業計上		
4	あつまれ!みんなの食 卓応援事業	生活困窮世帯に対し、 無料で食品や日用品を 提供し、生活の不安を 解消できるよう支援し ます。	実施日：7月30日(日)、3月5日6+(日) 対象者：生活困窮世帯 内 容：食材や日用品等を給付する。 回 数：2回
	予算額 緊急食材等 提供支援事業計上		
5	生活福祉資金 貸付事業	低所得者、障がい者又は高齢 者に対し、資金の貸付や必要な 相談を行うことにより、その経済 的自立や社会参加の促進を図 り、安定した生活を送れるよう に支援します。	対象世帯：低所得世帯、障がい者世帯、高齢者 世帯 貸付区分：総合支援資金、福祉資金、教育支援 資金、不動産担保型生活資金、特例 貸付(新型コロナウイルス感染症影響による) 実施主体：茨城県社会福祉協議会

(7)地域福祉事業

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	心配ごと相談事業	広く住民の相談に応じるため、弁護士による相談所を開設し、専門的で適切な助言及び援助を行います。	相談回数:年 12 回 相談場所:銚田地区 銚田公民館(年 4 回) 旭 地区 学習等共用施設(年 4 回) 大洋地区 大洋公民館(年 4 回) 相談員:弁護士 1 名、心配ごと相談員 12 名 各回 弁護士 1 名 相談員 3 名で対応 相談料:無料 ※要電話予約
	予算額 646千円		
2	地域福祉推進費 助成事業	住民が主体的に参加する交流事業等に助成を行い、地域福祉活動の拡充を図ります。	対 象:行政区及び小学校区 助成額:均等割 20,000 円+(世帯数×100 円) 学校割:30,000 円
	予算額 1,790千円		
3	ふれあいいいきき サロン事業	地域で暮らす高齢者等が仲間づくりや運動・講座等を実施することにより、健康増進や介護予防等を図ります。	対象者:高齢者及び地域の住民、ボランティア 内 容:運動、講座、会食など 場 所:地区公民館など 助成金:参加者 10 名未満 (年額 20,000 円) 参加者 10 名以上 (年額 25,000 円)
	予算額 1,857千円		
4	ふれあい電話事業	希望するひとり暮らし高齢者に、電話による安否確認、相談ごとなどの話を行い、高齢者の精神的不安の解消を図ります。	対象者:ひとり暮らし高齢者等 内 容:傾聴ボランティアが安否確認のため、電話による相談等を行う。 回 数:月 1 回
	予算額 174千円		
5	備品貸出事業	地域のコミュニティ活動を支援するため、イベント等に係る備品の貸出を行います。	貸出備品:かき氷機、ポップコーン機、綿菓子機 臼、杵、テント等 利 用 料:無料
	予算額 法人計上		

(8)共同募金事業

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	赤い羽根 共同募金運動	社会福祉法に基づき、地域福祉の推進を図るため、市民の理解と協力により、募金活動を推進します。	期 間:10月1日～12月31日 内 容:戸別募金、法人・個人(大口)募金、 街頭募金、職域募金、学校募金など 協力団体:区長会(個別募金) 民生委員児童委員協議会 (法人・個人(大口)募金)
	予算額 共募計上		

2	歳末たすけあい事業 ①あつまれ!みんなの食卓応援事業(1回) ②見舞金事業 ③わいわいタイム(施設助成)事業 ④ほこたサンタがやってくる	市内在住の低所得世帯や生活困窮世帯、準要保護世帯等を事業対象者とし、年末年始を少しでも明るく過ごしていただくよう、事業を実施する。	①対象者:生活困窮世帯 内 容:食材や日用品等を配布する。 実施日:11月27日(日) ②対象世帯:要件を満たすひとり暮らし高齢者、障がい者等 内 容:申請方式により見舞金を配布する。 金 額:共同募金委員会審査委員会において決定する。 ③対 象:市内障がい者(児)通所施設 内 容:年末年始に行う事業への助成 助成額:10,000円/1施設+登録者数×200円 ④対象者:準要保護に認定されている小学生のいる世帯 内 容:ほこたサンタがクリスマスケーキ他を贈る。
	予算額 2,443千円		
3	共同募金配分金事業	戸別募金、大口募金の募金活動を推進する団体に対して、協力費を助成します。	協力団体:銚田市区長会(3地区) 銚田市民生委員児童委員協議会(3地区) 助 成 額:1団体 30,000円
	予算額 319千円		

(9)介護保険事業

番号	事業名等	目 的	具体的な事業内容
1	居宅介護支援事業	介護保険法に基づき、介護支援専門員が要支援、要介護認定者に対して支援計画の作成、相談援助を行います。	内 容:介護予防計画の作成 介護支援計画の作成 要介護認定の申請代行 契約者数見込み:130名程度 利用料:自己負担なし
	予算額23,943千円		
2	訪問介護事業	介護保険法に基づき、生活状況及び身体的状況に応じた、生活支援、身体介護、移動等のサービスを提供します。	内 容:生活援助(調理、洗濯、掃除、買物など) 身体介護(入浴、排泄、食事介助など) 通院等乗降介助(通院、買物など) 契約者見込み:100名程度 利用料:要介護度、利用区分による
	予算額54,763千円		

(10)障害福祉サービス事業

番号	事業名等	目 的	具体的な事業内容
1	特定相談支援事業	障害者総合支援法に基づき、障害者相談支援員が障がい者(児)の支援計画の作成、相談援助を行います。	内 容:サービス等利用計画の作成 利用者宅を訪問し、アセスメントを行う。 契約者数見込み:100名程度 利用料:自己負担なし
	予算額 6,162千円		

2	居宅介護等事業	障害者総合支援法に基づき、生活状況及び身体的状況に応じた、生活支援、身体介護、移動等のサービスを提供します。	内 容:生活援助(調理、洗濯、掃除、買物など) 身体介護(入浴、排泄、食事介助など) 通院等乗降介助(通院、買物など) 契約者見込み:20名程度 利用料:要介護度、利用区分による
	予算額 5,442千円		
3	就労継続支援 B型事業所のぞみ	障害者総合支援法に基づき、就労の機会や生産活動を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練等のサービスを提供します。	対象者:障がい者 内 容:就労支援、受注作業、清掃活動など 契約者見込み:13名程度
	予算額20,015千円		
4	スマイルハウス 運営事業	障害者総合支援法に基づき、障がい者の就労環境の整備や生活の場を確保します。	対象者:精神障がい者 内 容:受注作業、清掃活動など 現在の登録者:6名
	予算額 7,166千円		

2 公益事業

(1)受託事業/茨城県社会福祉協議会

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	日常生活自立 支援事業	認知症高齢者、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分な方に対し、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理のお手伝いをすることにより在宅での自立した生活を送ることを支援します。	対象者:判断能力の不十分な高齢者、障がい者 内 容:福祉サービスの利用手続きや日常的な払い戻しや施設等の支払いを行います。 担 当:専門員(4名)、生活支援員(6名) 利用者見込み:15名程度 利用料:1時間 1,100円
	予算額 1,559千円		

(2)受託事業/鉾田市

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	地域ケアシステム 推進事業	在宅の援護を必要とする高齢者に対して、安心して暮らせる福祉コミュニティづくりを推進します。	対象者:ひとり暮らし高齢者、高齢世帯、障がい者等 内 容:地域で孤立し閉じこもりがちな対象者に対し、民生委員や地域包括支援センター等の関係機関と連携し、在宅ケアチームを組織化する。
	予算額 2,987千円		

2	通所型介護予防事業	家に閉じこもりがちな高齢者や要介護状態になるおそれがある高齢者に対して、社会的孤立の解消及び介護状態になることへの予防を図ります。	<p>対象者：家に閉じこもりがちな高齢者や要介護状態になるおそれのある高齢者</p> <p>内 容：運動、創作活動、食事など</p> <p>回 数：銚田地区(月 4 回 年 48 回)</p> <p>旭 地区(月 2 回 年 24 回)</p> <p>大洋地区(月 2 回 年 24 回)</p> <p>参加費：無料</p>
	予算額 3, 546千円		
3	在宅介護支援センター事業	援護を要する高齢者等に対して、安否の確認や各種サービスの情報提供を図ります。	<p>対象者：おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢世帯など</p> <p>内 容：秋津地区、巴地区の一部 訪問活動</p> <p>回 数：定期訪問及び生活状況に応じた訪問</p>
	予算額 2, 856千円		
4	子育て支援ヘルパー派遣事業	産前又は産後に体調不良等のため、育児を行うことが困難な世帯にヘルパーを派遣します。	<p>対象者：妊娠中又は産後の体調不良等、多胎による妊娠中又は 1 年以内にある者</p> <p>内 容：家事・育児に関すること。</p> <p>料 金：1 時間 800 円</p>
	<p>予算額</p> <p>訪問介護事業計上</p>		
5	生活支援体制整備事業	高齢や介護状態になった場合でも、地域で生きがいを持ち生活が送れるよう地域づくり体制の整備を図ります。	<p>銚田市：第1層協議体を運営する</p> <p>社 協：第2層協議体を運営する</p> <p>※第2層協議体は、市内の中学区を範囲とし、更に小学校区等に細分化することで、生活支援コーディネーターを配置しながら、より実践的な協議体づくりを目的として段階的に拡充を図る。</p>
	予算額 3, 271千円		

(3)指定管理事業/銚田市

番号	事業名等	目 的	具体的な事業内容
1	いきいきプラザ幸遊館管理事業	高齢者の研修、創作活動、健康増進の場の提供を図るため、施設運営を行います。	<p>対象者：市民及び高齢者など</p> <p>内 容：介護予防(リハビリ体操)に関する事業</p> <p>各種団体の支援に関する事業</p> <p>料 金：1,000 円～3,000 円</p> <p>※関連団体等は無料</p>
	予算額 2, 580千円		
2	老人福祉センター管理運営事業	介護予防事業やレクリエーション事業をとおして、高齢者等の健康増進、教養の向上を図ります。	<p>対象者：市内外利用者及び高齢者など</p> <p>内 容：入浴、カラオケ、講座など</p> <p>料 金：60 歳以上 200 円</p> <p>一般 400 円(市内在住)</p> <p>運 動：リハビリ体操指導士会(年 160 回程度)</p> <p>銚田市健康づくり財団(年 100 回程度)</p> <p>講 座：なんでもがんばる講座(年 12 回)</p> <p>ほこた座(年 3 回)</p>
	予算額31, 419千円		

3 収益事業

(1)老人福祉センター売店事業

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	老人福祉センター 売店事業 予算額 2,275千円	老人福祉センター内において、物品の販売を行います。	内容:売店の運営、自販機の管理

令和4年3月15日 提出

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会
会長 岸田 一夫

3 収益事業

(1)老人福祉センター売店事業

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	老人福祉センター 売店事業	老人福祉センター内において、物品の販売を行います。	内 容:売店の運営、自販機の管理
	予算額 2,275千円		

令和4年3月28日 提出

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会
会 長 岸 田 一 夫